

第1章 はじめに

1.1 計画策定の背景および目的

近年、自転車は環境に優しく、健康にも効果の高い交通手段として、日常的な利用の他、観光や災害時など幅広い用途での自転車の利活用が進められています。

平成29年(2017年)5月には『自転車活用推進法』が施行され、平成30年(2018年)6月には国が「自転車活用推進計画」を、令和3年(2021年)3月には沖縄県が「沖縄県自転車活用推進計画」を策定しました。また新型コロナウイルスの流行拡大下では、三密を避けられる交通手段である自転車の価値が見直されることとなり、国では通勤・通学等において、より積極的な自転車利用を促進する動きが見られます。

本市においては、都市交通手段としての自転車利用を促進していくために平成30年(2018年)3月に「那覇市自転車ネットワーク計画」を策定し、安全で快適な自転車通行空間や駐輪場の整備を進めているところです。これらを有効に活用し、自転車利用を促進することで、観光や健康、交通教育など様々な分野が連携しながら、交通渋滞や高齢者の移動手段の確保などといった多様な地域課題に対応していくことが期待されます。その基本となる計画として、「那覇市自転車活用推進計画」の策定を行います。

1.2 計画対象区域

本計画の区域は本市全域とし、隣接市町とのネットワークのつながりにも配慮するもの
とします。

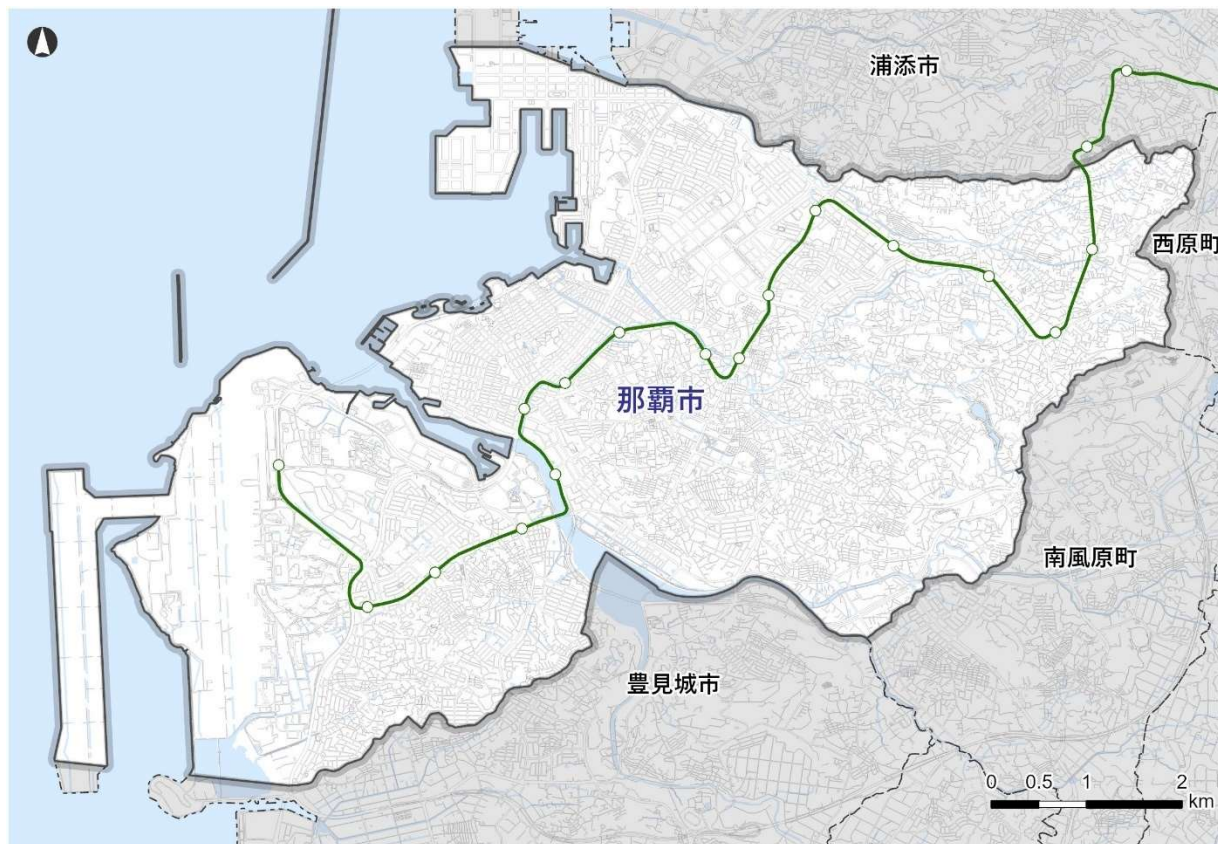


図 1-1 計画区域

1.3 計画期間

自転車ネットワークの整備など、推進には長期的な視野を持って対応する必要があることから、計画期間は令和5年度(2023年度)から令和14年度(2032年度)の10年間とします。進捗状況を確認しながら必要に応じて見直しを行います。

1.4 計画の位置づけ

本計画は、国の「第二次自転車活用推進計画」、沖縄県の「沖縄県自転車活用推進計画」および本市の最上位計画である「第5次那覇市総合計画」、「那覇市都市計画マスタープラン」、「那覇市交通基本計画」、「第二期那覇市総合交通戦略」を上位計画とし、まちづくり、交通、観光、健康、防災などの関連計画とも連携や整合を図りながら、幅広い地域課題に対応していきます。

平成30年3月に策定、令和2年3月に改定した「那覇市自転車ネットワーク計画」については、本計画の一部に位置づけ、引き続きネットワークの整備を推進していきます。

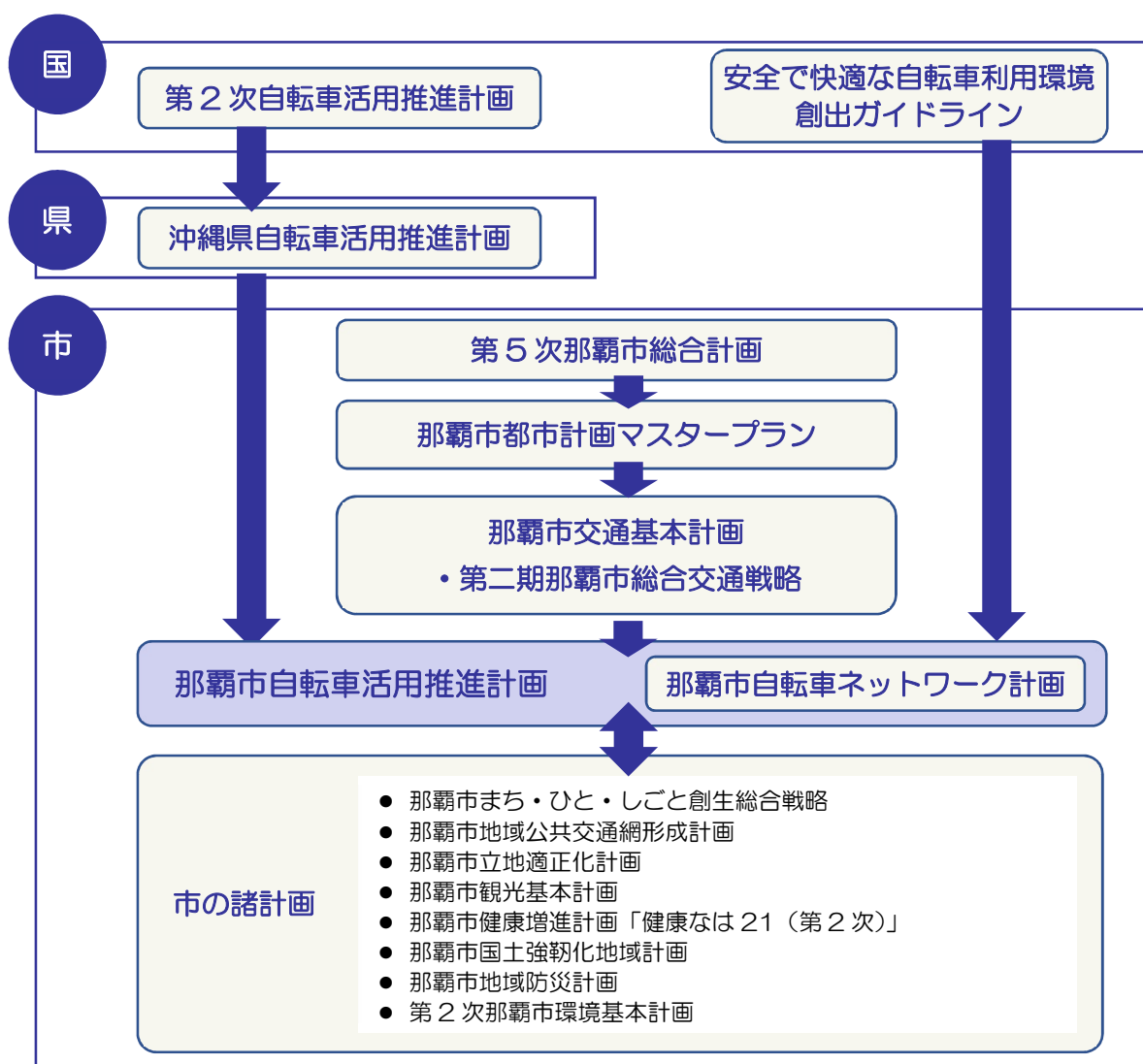


図 1-2 本計画の位置づけ

第2次自転車活用推進計画			国
策定年次	令和3年(2021年)5月	計画期間	令和7年(2025年)まで
目標と施策	目標1 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成		
	施策1. 地方公共団体における計画策定・施策実施の促進		
	施策2. 自転車通行空間の計画的な整備の推進		
	施策3. 路外駐車場等の整備や違法駐車取締りの推進等		
	施策4. シェアサイクルの普及促進		
	施策5. 地域の駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備推進		
	施策6. 情報通信技術の活用の推進		
	施策7. 生活道路での通過交通の抑制や無電柱化と合わせた取組の実施		
	目標2 サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現		
	施策8. 国際規格に合致した自転車競技施設の整備促進		
	施策9. 公道や公園等の活用による安全に自転車に乗れる環境の創出		
	施策10. 自転車を利用した健康づくりに関する広報啓発の推進		
	施策11. 自転車通勤等の促進		
	目標3 サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現		
	施策12. 国際会議や国際的なサイクリング大会等の誘致		
	施策13. 走行環境整備や受入環境整備等による世界に誇るサイクリング環境の創出		
	目標4 自転車事故のない安全で安心な社会の実現		
	施策14. 高い安全性を備えた自転車の普及促進		
	施策15. 多様な自転車の開発・普及の促進		
	施策16. 自転車の点検整備を促進するための広報啓発等の促進		
	施策17. 交通安全意識の向上に資する広報啓発活動の推進や指導・取締りの重点的な実施		
	施策18. 学校等における交通安全教室の開催等の推進		
施策19. 地方公共団体における計画策定・施策実施の促進(再掲)			
施策20. 自転車通行空間の計画的な整備の推進(再掲)			
施策21. 災害時における自転車の活用の推進			
施策22. 損害賠償責任保険等への加入促進			

沖縄県自転車活用推進計画			沖縄県
策定年次	令和3年(2021年)3月	計画期間	令和3年度(2021年度)～ 令和12年度(2030年度)
目指すべき姿	子どもから大人まで、誰もが安全・安心に自転車を利用できる バイシクルウェルカムな島		
目標と施策	<p>目標1 自転車が安全・安心・快適に通行できる空間整備を推進します</p> <p>施策1. 自転車通行空間の計画的な整備推進 施策2. 自転車通行空間の安全確保 施策3. まちづくりと連携した総合的な取組の実施</p> <p>目標2 自転車で県民のクオリティ・オブ・ライフを高めるための取組を推進します</p> <p>施策4. 自転車の利用促進を図るための駐輪場の設置推進 施策5. シェアサイクルの普及推進 施策6. 自転車を活用した健康づくりの推進 施策7. 自転車通勤等の促進</p> <p>目標3 国内外からの交流人口拡大に向けたサイクルツーリズムを推進します</p> <p>施策8. サイクルスポーツ振興の推進 施策9. 世界に誇るサイクリング環境の創出</p> <p>目標4 安全・安心な暮らしの実現に向けた自転車利用を推進します</p> <p>施策10. 世代等に応じた交通安全意識の向上に向けた取組の推進 施策11. 自転車の安全利用の促進 施策12. 自転車の点検整備の推進 施策13. 災害時における適切な自転車の活用の推進 施策14. その他の取組の推進</p>		

第5次那覇市総合計画			那覇市
策定年次	平成30年(2018年)3月	計画期間	平成30年度(2018年度)～ 令和9年度(2027年度)
まちづくりの将来像	なはで暮らし、働き、育てよう！笑顔広がる元気なまち NAHA ～みんなでつなごう市民力～		
整合を図る 施策内容	<p>多様なつながりで共に助け合い、認め合う安全安心に暮らせるまち NAHA 地域の力が重なる安全安心のまちづくり 地域の防犯・交通安全活動を推進し、安全安心を実感できるまちをつくる 災害対応力の高いまちづくりをつくる</p> <p>互いの幸せを地域と福祉で支えたい誰もが輝くまち NAHA 地域で暮らし地域で支えるまちづくり 小学校区などの身近な地域で、高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくる すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり 市民一人ひとりが健康づくりを実践するまちをつくる</p> <p>ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる万国津梁のまち NAHA ビジネス・リゾートと歴史・文化が誘導する観光まちづくり 国際化に対応した観光環境の整備されたまちをつくる 那覇らしい観光資源の発掘・創造と魅力のあるまちをつくる</p> <p>自然環境と都市機能が調和した住み続けたいまち NAHA 省エネを実践し、資源が循環するまちづくり 省エネを実践するライフスタイルへの転換を促進するまちをつくる 暮らしてよし歩いて楽しい快適なまちづくり 市街地の整備を促進し安全で快適な魅力あるまちをつくる 誰もが移動しやすいまちをつくる</p>		

那覇市交通基本計画			那覇市
策定年次	平成 22 年(2010 年)3 月、 平成 26 年(2014 年)4 月一部改定	目標年次	令和 12 年度(2030 年度)
基本理念	なはの自然・文化が息づく交通まちづくり ～人中心のまちづくりをめざして～		
基本目標	誰もが移動しやすいまちをつくる		
整合を図る 施策	交通に対する意識改革		
	① クルマに頼り過ぎない暮らしの推進 ・ 公共交通や自転車・徒歩等への利用転換を図るエコ通勤の推進 ② 道路空間の再配分 ・ 自家用車から人・自転車・自動二輪・公共交通への利用転換を促す道路空間の再配分 ・ 歩道・自転車専用道路等の自家用車以外の移動手段の空間を確保		
	公共交通利用環境の向上・充実		
	② バス利用環境の向上・充実 ・ キス&ライド、サイクル&ライド等の推進による利用圏の拡大 ③ モノレール利用環境の向上・充実 ・ 駅周辺にタクシー乗り場、自家用車乗降場、駐車場、駐輪場等を備えた交通広場の整備によるキス&ライドやサイクル&ライドの推進		
多様な移動手段の利用環境の向上・充実			
① 徒歩・自転車利用環境の向上・充実 ・ 市民が環境に優しい移動手段を抵抗なく選択できるような環境整備 ・ 既存の道路や緑道等を活用した歩行者や自転車が移動できるネットワークを構築 ・ 歩行者と自転車が分離された安全な空間の確保 ・ 主要バス停留所、モノレール駅周辺での駐輪施設の整備・充実 ・ レンタサイクル等様々な活用策の検討 ・ 自転車利用者に向けた交通ルール・マナーへの理解向上と安全利用の啓発 ・ 自動車の面的速度規制や一方通行化による空間の確保などのソフト的な施策も組み合わせながらネットワークを構築 ③ 観光客の移動手段の向上・充実 ・ 首里城周辺での、徒歩やレンタサイクル、観光周遊バスなどでの移動性の確保 ・ 主要観光拠点における、徒歩・自転車などでの散策・移動促進 ④ 高齢者等交通弱者の移動手段の向上・充実 ・ 自家用車に替わる移動手段となる公共交通の利用に対する支援			

関連計画	整合を図る施策・取組み
那覇市都市計画マスタープラン (令和2年(2020年)3月策定)	『交通体系の方針』において、自転車通行空間の確保、レンタサイクルやシェアサイクルポートの拡充、駐輪場の整備推進等を掲げている。 『都市環境形成の方針』においては、自転車ネットワーク形成などによる自転車利用者に優しいまちづくりを掲げている。 また、健康につながる空間づくりや、観光における交通ネットワークの充実等を掲げている。
那覇市まち・ひと・しごと創生総合戦略 -第2期- (令和2年(2020年)5月策定)	『安全安心快適なまちづくり』において、駅周辺等のシェアサイクルポートの拡充による自転車利用環境の向上を施策内容としている また、『健康・長寿おきなわの復活』において生活習慣予防につながる生活習慣の実践を施策内容としている。
第二期那覇市総合交通戦略 (令和3年(2021年)3月策定)	自転車利用環境の向上・充実(自転車ネットワーク計画)を施策としている。
那覇市地域公共交通網形成計画 (令和2年(2020年)3月策定)	フィーダーとなる移動手段の提供や利用しやすい交通結節点の整備を施策としている。
那覇市立地適正化計画 (令和2年(2020年)3月策定)	『居住誘導に係る取組』として、公共交通や自転車等の利用の推奨や、日常生活の中で運動ができる施策の検討などをあげている。 『交通に係る取組』では、自転車利用環境の整備(ネットワーク整備、駐輪場の設置推進、レンタサイクル・シェアサイクルポートの拡充等)公共交通・自転車・徒歩による通勤・通学の推進をあげている。
那覇市観光基本計画 (平成27年(2015年)5月策定)	『市内回遊できる仕組みづくり、二次交通の利便性向上』において、自転車走行空間と駐輪場の整備推進、レンタサイクルの利用促進を取組みとしている。 その他に、交通ターミナル機能の強化や、スポーツイベントの拡充、おもてなしの展開等を取組みとして掲げている。
健康なは21(第2次) (平成28年(2016年)3月策定)	『健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり』では、運動習慣の定着や情報提供、環境づくり等を取組みとしている。
那覇市国土強靱化地域計画 (令和3年(2021年)2月策定)	『交通・物流』について、都市交通体制の環境整備を掲げており、横断的分野の『リスクコミュニケーション』では、事業者との連携強化を掲げている。
那覇市地域防災計画 (令和2年(2020年)5月策定)	災害時の初動体制の強化や市の活動体制整備について言及している。
第2次那覇市環境基本計画 (平成26年(2014年)6月策定)	『きれいな空気を守る』における市の取組で、自転車を利用しやすい環境を整備する、自転車等の利用を呼び掛けるとしている。